

令和8年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	蔵助沢3号 砂防メンテナンス工事		
受注者名	株式会社佐藤惣建設		
工事場所	弘前市大字百沢地内	請負代金額	50,765,000円
工期	令和7年4月1日～令和7年11月28日	成績評定点	84
完成年月日	令和7年11月19日	推薦公所	中南県土整備事務所
主任（監理）技術者	諏訪 隆二	総括監督員	高田 浩行
工事内容	施工延長 L=31.45m コンクリート堰堤工 V=439.6m3	主任監督員	山下 澄晴
		監督員	木村 賢吾

推薦理由

本工事は、弘前市大字百沢地内にある蔵助沢川において、老朽化した砂防堰堤の強度不足を解消し、構造を補強する目的で実施される砂防メンテナンス事業であり、既設の砂防堰堤の上流面にコンクリートを増し打ちする工事である。

砂防土工及び仮設工では、深さ10mの掘削と仮水路の切廻し及び仮設坂路の設置を安全に作業するため、人検知衝突軽減システム搭載バックホウでの掘削、計画的な仮水路切廻しと仮設坂路の設置、掘削法面へのシート養生、ユニット式自在階段を使用した昇降階段の設置等を行い安全確保に努めた。

コンクリート堰堤工では、床掘り最下部に均しコンクリートを打設し、残存型枠の施工に必要なアンカー鉄筋の設置、差筋に鉄筋用防錆材を塗布、コンクリート打設用足場の設置、コンクリート打設時の背負式バイブレーターの使用、コンクリート打継剤使用による省力化等を行い、生産性向上と品質確保に努めた。

また、職場体験(インターンシップ)を積極的に受入れ、地域への貢献にも努めた。

以上、「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等

【完成写真】



【インターンシップ】



【掘削法面のシート養生】



【背負式バイブレーター】



【コンクリート打設用足場】



受賞コメント

この度は、県土整備部優良工事表彰という大変栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。受賞にあたりまして、ご指導下さいました監督職員の皆様、工事にご協力くださいました関係各位の皆様には心より感謝と御礼を申し上げます。

本工事は、深さ10mの掘削や高さ9mの残存型枠設置及びコンクリート打設と高低のある現場であり、作業時の安全を確保するため掘削法面のシート養生やコンクリート打設足場を設置するなど対処し、無事故で工事を終わることができました。

今後もこの受賞を励みとし、施工品質の向上と地域社会の発展に貢献できるよう、社員一同精進を重ね努力して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
佐藤 隆



主任技術者
諏訪 隆二

令和8年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事名

蔵助沢3号 砂防メンテナンス工事

受注者名

株式会社佐藤惣建設

推薦工事及び受注者の概要

工事成績評定 第1号様式における評価状況

3.出来形及び出来ばえ	評価者	監督員	検査者
	I.品質	b	b
	II.出来形	a	a'
	III.出来ばえ	-	c
全体	d, e評価の有無	■なし □あり	
7.法令順守における減点		■なし □あり	

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

- 受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた
- 受注者が建設業法による営業停止処分を受け、令和6年7月8日以降に営業停止期間がある
- 受注者の令和6年度完成工事の工事成績評定点の最低点が65点未満

その他説明資料

【生産性向上に向けた取り組み】

コンクリート堰提本体工の残存型枠の施工は、底版に設置したアンカー鉄筋に対し、残存型枠へ取付けたセパレート鉄筋を溶接し固定しました。

また、打ち継ぎ箇所へのアンカー鉄筋設置は可能ですが、最下部はコンクリート底版が無い場合、床掘面の基面整正後、均しコンクリートを打設してアンカー鉄筋を設置することで、残存型枠取付け作業の施工性が向上しました。

均しコンクリート打設

打設前品質確認

圧縮強度試験



出来形確認

残存型枠組立

溶接作業



【品質管理に向けた取り組み】

支持地盤の確認にスウェーデン式サウンディング試験を行ったところ、床付面以深は設計荷重を満足していました。



残存型枠組立時に溶接する支持鉄筋が、コンクリート打設時のバイブレーター移動の妨げになり締固め不足が懸念されるため、バイブレーターを操作する人員1人で作業が完結できる背負式バイブレーターを使用し打設しました。



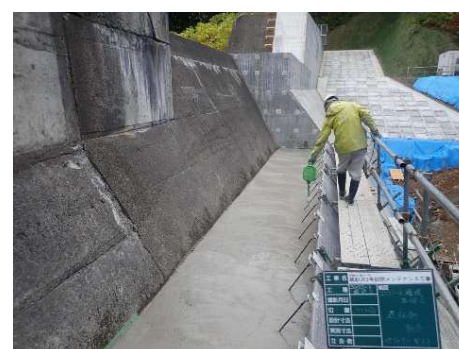
差筋(SD345、D25)納入後、定着からコンクリート打設までの間にサビが発生しないよう、差筋納入日に鉄筋用防錆剤を塗布したところ、コンクリート打設までサビは発生しませんでした。



コンクリート堰堤本体工におけるコンクリート打継目処理について、吸着性・付着性に優れるコンクリート打継剤にて打継目処理を行い省力化に努めました。



コンクリート堰堤本体工は次回工事で完成形となるため、今回工事の最上面は、コンクリート打継剤ではなくコンクリート表面凝結遅延剤を散布し、レタンス処理を行いました。



【安全管理に向けた取り組み】

建設機械作業中の安全性向上のため、機体の周囲にいる人をシステムで検知し、走行または旋回起動時に人を感知した場合は機体の駆動を制御する機能を付与した人検知衝突軽減システム搭載のバックホウを使用しました。



既設堰堤と残存型枠の間隔が狭く、コンクリートホッパーが入らないリフトでのコンクリート打設時に、足場を設置し作業しました。



スキー場のリフト用ワイヤーロープの下に架空線注意のぼり旗を設置し、接触事故防止に努めました。



本工事は高低差があり上下移動が多いため、安全性確保と設置時の作業性向上を考慮し、法面2号ユニバーサルユニット自在階段を使用しました。ユニット式アルミ合金製の自在階段は軽量化され、設置及び解体作業の効率がアップし安全な作業にもつながりました。



本工事の掘削法面は掘削開始から完成までの5ヶ月間、露出状態となるため、掘削法面をブルーシートで養生し降雨及び湧水等に備えました。



夏の現場作業における熱中症対策として、作業員への周知シート、梅干しや塩飴や飲料水、日よけメッシュ、熱中対策サポートキット、黒球付マルチ熱中症計、直射日光や照り返しを防ぐテントとベンチ、冷蔵庫とエアコンを設置したところ、作業員が熱中症を発症することなく工事を進めることが出来ました。



【困難な自然的、社会的条件に向けた取り組み】

本工事の施工箇所左岸側に既設の仮設坂路及び仮水路が設置されていますが、掘削範囲にあるためそれぞれを右岸側へ移設する必要が生じたことから、先に仮水路を新設して上流からの沢水を切廻し、既設仮水路を撤去し、仮設坂路を設置して掘削作業を進めました。

仮水路の設置



既設仮水路の撤去



仮設坂路の設置



バックホウによる掘削・積込



不整地運搬車による土砂運搬



【イメージアップに向けた取り組み】

中南県土整備事務所 河川砂防施設課より当社に、職場体験（インターンシップ）の場として提供要請があり、当現場で弘前工業高等学校土木科の生徒3名を受け入れ、作業現場の説明・見学・施工検査体験を実施しました。



現場環境の地域への調和を考え、木目調のユニットハウス・簡易水洗トイレを設置し、工事用道路や工事看板周辺は頻繁に草刈りを実施しました。

木目調のユニットハウス



木目調の簡易水洗トイレ



工事用道路の草刈り

